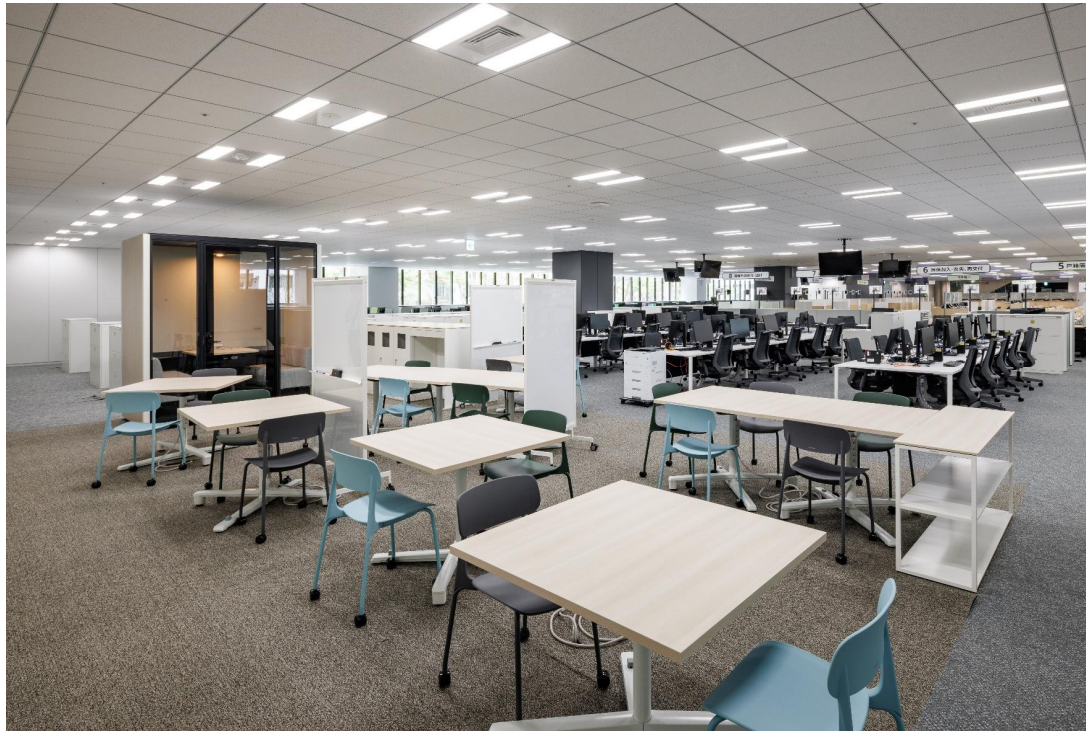


令和 6 年 5 月現在

プロジェクトの詳細

開 庁 : 令和6年5月7日
人 口 : 337,337人
対象人員 : 約1600人
延べ床面積 : 47,275.96㎡
建物概要 : 鉄骨造(一部鉄筋コンクリート造、
鉄筋鉄骨コンクリート造)
地下2階、地上11階 塔屋1階
委託業務 : 中野区新庁舎オフィス環境
整備等業務委託



執務室

課長席を含めたグループアドレス制を導入。業務内容に応じて職員が働く場所を選べる環境の整備とともに、多機能ユニファイド・コミュニケーションシステムの導入や、ペーパーレスの徹底等により業務を効率化。



2階窓口 住民票、マイナンバー、戸籍、税、国保の窓口。
来庁者の利便性を高める4つのない(迷わない・待たない・動かない・書かない)により、スムーズに手続きを行うことができる。



区民交流スペース「ナカノナカニワ」

多様な情報を集約した総合情報コーナーとして整備。アート展示用としてパーゴラを設置し、文化芸術の各種展示を実施。多摩産材を使用するなど親しみやすく、ぬくもりのある空間。

100年に一度ともいわれる中野区駅周辺の再開発。2030年までに計画されている11のプロジェクトの先駆けとして、中野区役所新庁舎が令和6年5月に開庁しました。

この本庁舎は「耐震・環境・景観が調和した安全で環境にやさしい庁舎」を設計コンセプトとし、大震災発生時にも災害対策拠点としての機能を維持できるよう、免震構造を採用、ライフライン途絶時も庁舎機能を5日間維持できるよう備えています。環境性能では、高い省エネ基準を満たした「ZEB Ready」認証を、都内自治体庁舎で初めて取得されました。

庁舎内にはキッズスペースやベビールームの設置のほか、議場には親子傍聴席、車いすの方用の席を設けるなどユニバーサルデザインに配慮し、誰にでも安全で分かりやすく、利用しやすい空間としています。

1階はアートを軸にしたパブリックスペース「ナカノナカニワ」を中心に、多彩な区民活動の機能を配置し、にぎわいや憩いの場が区民に提供されています。屋内イベントスペース「ナカノバ」は隣接する広場「ナカノソトニワ」と一体的な活用もできる、明るく開放的な空間となっています。

窓口サービスに関しては、来庁者の利便性を高める4つのない(迷わない・待たない・動かない・書かない)により、スムーズに手続きを行うことができるとともに、+1(プラスワン)として、オンライン上で手続きができる(行かない)サービスを拡充するなど、誰にでも便利な「なかのスマート窓口」を開設しています。

さらに、職員のワークスタイル改革にも取り組み、ユニバーサルレイアウトによるスペースの効率化やグループアドレスの導入、業務内容に応じて職員が働く場所を選べる環境の整備とともに、多機能ユニファイド・コミュニケーションの導入や、ペーパーレスの徹底等により業務を効率化し、区民サービスの向上を図っています。



オカムラHPでも
ご覧いただけます



キッズスペース

子育ての窓口隣接したキッズスペース。同フロアには親子トイレ、ベビールームも設置。子供連れの来庁者の利便性を高めている。



共用窓口(4・6・8・9階)

案内人が用件を聞き取り、各課共用の窓口へ案内する。フロア内で完結する手続きであれば1つの窓口に座ったまま、移動することなく手続きを行うことが可能。



執務スペース

組織間の間仕切りをなくした、フロア全体を見渡せる空間。さらにグループアドレスを採用することで組織内外ともに職員間のコミュニケーションを活性化。



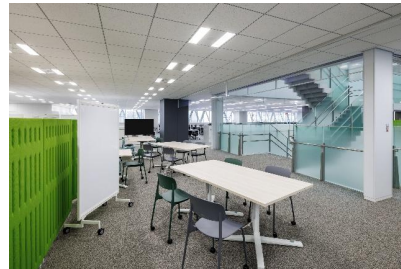
ワークラウンジ(ミーティングブース)

6人程度のミーティングに適したスペース。テーブルには大型ディスプレイを設置し、ペーパーレスでの打ち合わせが可能。



ワークラウンジ(フォーカスブース)

集中を要する個人作業に最適なブース。視線を程よく遮りPC画面を見られたくない場合にも活用可能。吸音性の高いパネル表面は話し声などの反響を抑える効果があり、Web会議や電話などに使用することも可能。



ワークラウンジ(フレキシブルエリア)

キャスター付きテーブルを動かすことで1人作業から大人数でのミーティングも可能。ホワイトボードやキャスター付きのディスプレイスタンド、書籍等を集束できるオープン棚を配置。



ワークラウンジ(防音ブース)

ペアワークはもとより気密性の高い人事面談などに活用できる防音ブース。ディスプレイを装備しており、Web会議等にも対応可能。



ワークラウンジ(コピーブース)

複合機や事務用品を集約・共有化し、設置スペースや在庫数、維持管理コスト等を削減。



政策協議ベース”N-BASE”

フリーアドレス形式の部長用執務スペース。幹部同士の日常的かつ偶発的なコミュニケーションにより、部門を超えた連携・協力を促進。



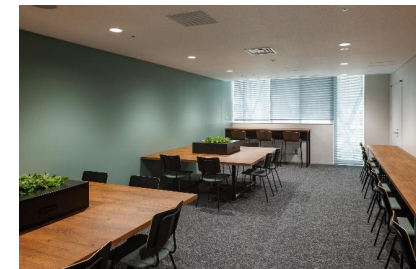
コミュニケーションラウンジ(グループ型)

昼食時間以外には、業務やミーティングも行えるコミュニケーションラウンジ。4人程度の利用に適しているファミレス形式のソファ・テーブルを中心に配置。周囲に気兼ねなくグループでの会話が行える。



コミュニケーションラウンジ(可変型)

ウォールベンチで構成したソファせきや4人掛けのテーブルを設置した、少人数で落ち着いて利用できるカフェのような空間。複数のテーブルをつなげることで大人数での利用も可能。



コミュニケーションラウンジ(個人型)

カウンターと1〜2人で使用できるライブラリーテーブルを設置した、周りに気兼ねなく1人利用できる空間。